

# 令和8年度 主要事業の紹介

## 「伊丹の水道」啓発事業(通水90周年記念)

### 【事業概要】

<「伊丹の水道」啓発事業(通水90周年記念)> 予算額:4,643千円

### 【内訳】

①②制作及び③④デザイン制作委託料(一括発注)	3,960千円
③ステッカー印刷費	110千円
④デザイン鉄蓋製作費	573千円

- 事業内容：上下水道は市民生活や経済活動を支える重要なインフラですが、その特性上、施設の大部分が地下に埋設されていることから重要性や老朽化に伴う更新の必要性を意識する機会は限定的となっていました。
- インフラの老朽化や災害リスクの増大といった課題が深刻化する中、局では、施設見学や各種イベントの実施、ホームページでの情報提供などのPR活動を積極的に行っておりますが、昨年、全国で相次いだ管路事故を契機として、上下水道事業に対する市民の意識や関心が高まりつつある中で、更に理解を深めていただけるようPRを強化するための事業を実施します。特に本年は、令和8年3月5日に伊丹市水道通水90周年という節目を迎えることから、これまでの歩みに対する感謝を伝えるとともに、市民の皆様、特に未来を担う子どもたちを対象とした以下の事業を展開してまいります。

### ①PR動画

イメージ



リアルな作業風景や、24時間365日守り続ける「現場の熱量」を映像化します。

①②は市内小学生へ教育教材として提供するとともに、上下水道局HP及び市公式SNSで公開、各種イベントでも市民にご視聴いただきます。

### ②啓発漫画

イメージ



子どもたちにも分かりやすく、興味を持ってもらえるように、上下水道の仕組みをストーリー性のある漫画で解説します。

### ③記念ステッカー

イメージ



通水90周年記念ステッカーの制作(1,500枚予定)千僧浄水場施設見学等のイベント時に配布します。

通水90周年記念

### ④デザイン鉄蓋

イメージ



記念デザイン鉄蓋を製作、昆陽池公園東側の多目的広場入口付近に設置します。

通水90周年記念

# 水道配水管改良事業(配水本管更新事業)

## 【事業概要】

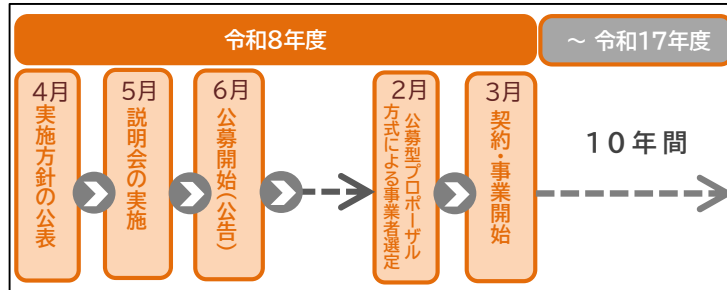
### <伊丹市配水本管設計施工一括方式更新事業>

■事業内容： 市内の配水本管<sup>注1</sup>は、その多くが布設後約60年経過しており老朽化による更新需要を迎えています。配水本管は、配水支管<sup>注2</sup>と比較して大口径であるため多額の更新費用が必要となり工事の難易度も高くなっています。また、現在の更新ペースでは年間約400m程度の更新にとどまり、全ての更新を解消するまで25年以上の期間を要します。そのため管路の統廃合(21.9km⇒14.8km)やダウンサイジング(例:φ350mm⇒φ300mm)を行い、官民連携手法である設計施工一括方式(デザインビルド方式:DB)を採用することで、今後10年間で配水本管の更新(新設・撤去)を行うとともに、災害時の断水範囲を抑制する配水ブロック化(強靱)を実現します。

注1 配水本管:浄水を配水支管へ輸送・分配する水道管をいう。

注2 配水支管:配水本管から分岐し、需要者へ浄水を供給する水道管をいう。

- 対象施設： 配水本管(φ800～φ300mm) 約10.3km(更新済を除く)
- 予算措置： 継続費(10年間)
- 事業期間： 令和8年度～令和17年度
- 事業費： 8,166,416千円
- スケジュール：



## 将来



配水ブロック化  
①～②ブロックから  
①～⑱ブロックへ

## 現況



### ■事業費内訳

	設計費	工事費	計
令和8年度	0	0	0
令和9年度	50,778	211,360	262,138
令和10年度	53,658	746,908	800,566
令和11年度	54,359	1,099,208	1,153,567
令和12年度	95,108	967,553	1,062,661
令和13年度	0	1,332,593	1,332,593
令和14年度	0	1,372,571	1,372,571
令和15年度	0	1,082,468	1,082,468
令和16年度	0	706,407	706,407
令和17年度	0	393,445	393,445
合計	253,903	7,912,513	8,166,416

単位:千円

## 水道配水管改良事業(配水支管更新事業)

<2月補正事業費> 200,418千円

■事業内容： 国の補正予算における防災・安全交付金を活用し、避難所等の重要施設へ接続する配水支管の更新及び耐震化を実施する。(R8年度予定事業前倒し)

### ■事業費内訳

歳出の内訳(詳細)	管種・口径	延長	金額	備考
配水管更新工事請負費		840 m	200,418 千円	
			(単価:206.4 千円)	(単価:121.1千円)
堀池2丁目地区 配水管布設工事	DIP・φ250mm	530 m	109,373 千円	内、交付金対象額64,194千円
	DIP・φ250mm	240 m	82,029 千円	撤去φ500mmを含む
	DIP・φ75mm	70 m	9,016 千円	
合計		840 m	200,418 千円	

### ■財源内訳

財源内訳(詳細)	事業費	交付金 <sup>※</sup>	企業債	その他(使用料等)	一般財源
工事請負費	200,418 千円	17,118 千円	119,100 千円	64,200 千円	0 千円

※ 交付率1/3 内示率80%  
 $64,194千円 \times 1/3 \times 80\% = 17,118千円$

工事箇所図



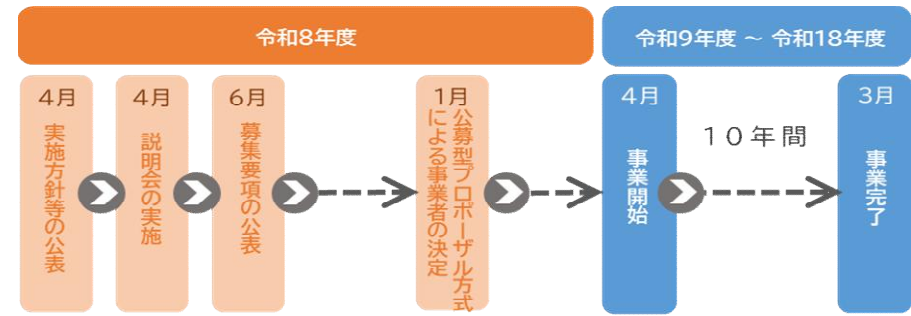
# 伊丹市下水道ウォーターPPP事業

## 【事業概要】

### <伊丹市下水道ウォーターPPP事業>

- 事業内容 : 本市では、令和6年度より「ウォーターPPP」の導入検討を進めており、令和8年度に公募・事業者選定を行い、令和9年度から下記事業スキームでの「ウォーターPPP」事業を開始します。
- 予算措置 : 債務負担行為（11年間）
- 事業期間 : 令和8年度～令和18年度
- 限度額 : 1,070,000千円（うち国費304,000千円）
- 事業費内訳

### ■スケジュール



単位：千円

	維持管理費用	改築関連費用	全体費用	全体費用うち国費
令和 8年度	0	0	0	0
令和 9年度	41,800	96,100	137,900	46,000
令和10年度	41,800	69,100	110,900	32,500
令和11年度	41,800	53,100	94,900	24,500
令和12年度	43,300	53,100	96,400	24,500
令和13年度	41,800	53,100	94,900	24,500
令和14年度	41,800	96,100	137,900	46,000
令和15年度	41,800	69,100	110,900	32,500
令和16年度	41,800	53,100	94,900	24,500
令和17年度	43,300	53,100	96,400	24,500
令和18年度	41,800	53,100	94,900	24,500
合計	421,000	649,000	1,070,000	304,000

### ■事業スキーム

#### 【対象施設】

污水管路施設（内訳） 污水管渠（分流・合流） 約485km  
マンホール・公共汚水柵・取付管 一式

#### 【マネジメント方式】

更新支援型（管理・更新一体マネジメント方式【レベル3.5】）

#### 【事業業務内容】

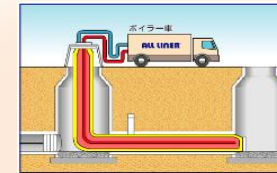
業務	内容
①総括管理業務	各業務の総括管理
②清掃業務	日常的に発生する管路施設の清掃(計画的な清掃も含む)
③住民対応業務	日常的に発生する住民要望の受付・現地状況確認・現地対応(現地対応は清掃業務のみ)
④修繕業務	污水管渠の部分的な修繕工事
⑤点検調査業務	污水管渠の簡易点検・詳細調査
⑥SM計画策定業務	污水管路施設に関するストックマネジメント計画の策定
⑦改築設計業務	污水管渠(800mm以上の大口径管渠)の改築詳細設計

※維持管理業務（①②③④）、改築関連業務（①⑤⑥⑦）、国費関連業務（⑤⑥⑦）

# 伊丹市における安全・安心な下水道整備(防災・安全)

## 管渠更生工事(図1)

<イメージ図>



<事例>

工事前 劣化により鉄筋や骨材が露出  
工事後 管の内面に新しい管を形成!!



<2月補正事業費> 682,400千円

■ 事業内容 : 国の補正予算における防災・安全交付金を活用し、老朽化対策事業等を実施する。(R8年度予定事業前倒し)

■ 事業費	委託料	144,000千円
	工事請負費	538,400千円
	計	682,400千円

### ■ 事業費・財源内訳

歳出の内訳(詳細)	事業費	交付金	企業債	その他(使用料等)	一般財源
<b>委託料</b> (a)	144,000千円	70,500千円	0千円	73,500千円	0千円
・ 汚水管渠詳細耐震診断業務	34,000千円	17,000千円	0千円	17,000千円	0千円
・ 汚水管渠調査業務	60,000千円	28,500千円	0千円	31,500千円	0千円
・ 雨天時浸入水対策計画策定業務	50,000千円	25,000千円	0千円	25,000千円	0千円
<b>工事請負費</b> (b)	538,400千円	257,200千円	29,000千円	252,200千円	0千円
・ 汚水管渠更生等工事(図1)	481,400千円	229,200千円	0千円	252,200千円	0千円
・ 北河原地区雨水管渠改築工事(第2工区)(図2)	57,000千円	28,000千円	29,000千円	0千円	0千円
合計 (a) + (b)	682,400千円	327,700千円	29,000千円	325,700千円	0千円

## 雨水管渠改築工事(図2)

<事例>

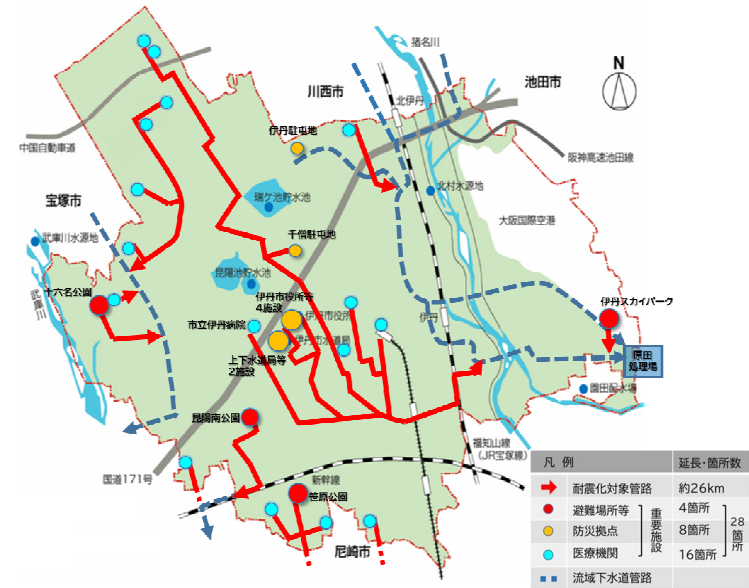
工事前 工事後



→2月補正◎^

# 下水道管路施設耐震化事業

## 耐震化対象管路図



### 【事業概要】

#### <汚水管渠詳細耐震診断業務委託>

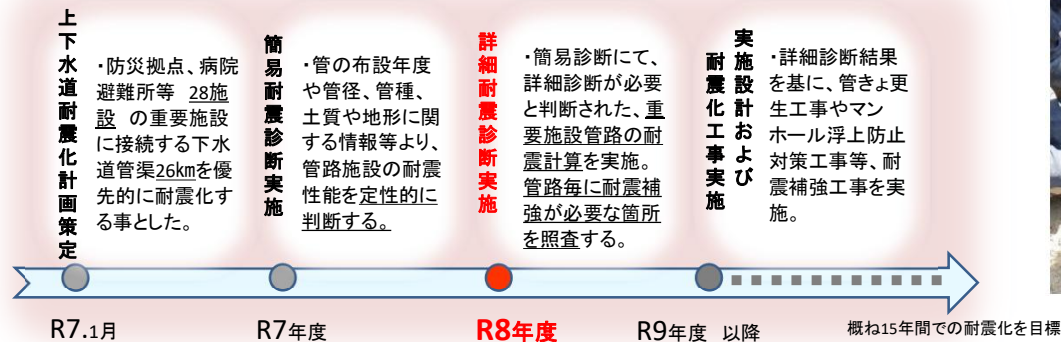
■事業内容：令和6年元日に発生した能登半島地震では、耐震化していた上下水道施設は概ね機能が確保できていたものの、耐震化未実施であった基幹施設等に被害が生じたことで広範囲での断水や下水管内の滞水が発生し、復旧が長期化する等、大きな影響が生じました。

本市では、これまで下水道管路の老朽化対策として更生工事を実施することで、耐震化も併せて進めてきました。今後は水道事業と連携し、計画的に耐震化を行うため、令和7年1月に策定した伊丹市上下水道耐震化計画に基づき、重要施設に接続する管路約26kmを対象に耐震診断を実施し、耐震性が不足していると判定された管路について耐震化を行います。

令和8年度には、令和7年度実施の簡易耐震診断結果を踏まえ、より精緻に照査を行う必要がある管路約12kmに対して詳細耐震診断を実施します。

- 予算額：34,000千円(うち国費17,000千円)
- 予定工期：8カ月
- 対象施設：汚水管及び合流管 φ200~2600mm
- 対象延長：L=約12km

### 事業スケジュール



### 下水道管路施設の被災事例

